

日新

苟日新 まこと ひ あら 苟に日に新たに
 日日新 ひ び あら 日々新たに
 又日新 また ひ あら 又日に新たなり
 出典 「大学」

日新地区だより 44号



「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行: 魅力あるまちづくり日新 広報部会
 福井市文京5丁目1-8日新公民館
 発行日: 平成29年(2017年)12月3日

日新地区の防災について

福井市消防団日新分団長
木村 茂治

福井市消防団日新分団が平成18年に発足し、早くも11年が経ちます。昨年12月には軽デッキバン消防車が配備されて日新分団の装備も充実されました。日新地区において、軽デッキバン消防車が赤色灯を点灯して走行しているのを見かけた方もいるのではないのでしょうか？



この日新地区は、旧都市部の住宅事情により隣棟間が狭く、一度火災が発生すると延焼の危険が非常に高い地区であることはご存知でしょうか？たとえ小さな火の気配であっても乾燥した日や風の強い日などは、すぐに隣家へ延焼し被害が拡大してしまいます。これから暖房器具を使用する季節となります。常に火は恐ろしいものであることを心の片隅に置いて、皆様と協力して安心安全な日新地区にしていきたいと思ひます。



これから暖房器具を使用する季節となります。常に火は恐ろしいものであることを心の片隅に置いて、皆様と協力して安心安全な日新地区にしていきたいと思ひます。

消防団の方々これからもよろしくお願ひします

日新地区の防犯

日新交番所長 廣田正和

地元の女性の「帰命寺の裏に不審な男がいます」との通報から男を盗撮で、また交番連絡協議会からの通報で車上狙いを検挙したことがあります。平成29年9月末現在での日新公民館内における刑法犯の発生件数は23件で、前年同月比で-6件と減少傾向にあります。これは前述の女性のように不審者を見たら警察に通報するという防犯意識の高さや、夜間に防犯パトロールを行っている皆さんの地道な努力がもたらした結果です。



地区の夜回り

年末に向けて慌ただしくなりますが、防犯意識の高い日新地区の皆さんと手を携えて安全で安心な日新地区の町を目指していきたいと思ひます。

10月に「県民の警察官」として廣田正和氏は表彰されました
おめでとうございます

日新地区近辺の最近の治安情報

- 11月8日 不審者情報(日光2丁目)
- 11月1日 痴漢事案の発生(文京3丁目)
- 10月16日 つきまとい事案の発生(二の宮4丁目)
- 10月5日 公然わいせつ事案の発生(乾徳2丁目)

みんなで守ろう日新地区を！



今の中学生は忙しく、同年齢の仲間と遊ぶことすらままならず、異年齢との交流となると部活動のみが主な活動となっています。しかし、本校には「クラウド」という縦割り集団があり、各学年1学級ずつが色集団(赤・青・黄・緑)を組織しています。3年生がリーダーとなり、下級生を繰り返し指導する機会を設定し、共通の目標に向かって活動をやり遂げます。具体的には、学習発表会、合唱コンクール、学校祭、地域貢献活動各種コンクールなどがあります。毎年生徒たちの素敵で感動的な活躍がたくさんみられます。特に今年は体育祭での応援が私のハートをぎゅゅとつかみました。顔中を口にして叫ぶ頑張れコール、種目の結果毎に一喜一憂する一体感が痛いほど伝わってきました。本当に心を打たれる光景でした。



3年生のまぶしい活躍にあこがれる下級生の素直さ、下級生を導こうとする上級生の優しさを目の当たりにするとき、これからの激動の社会を生き抜く力がこの「クラウド」の中にこそあると痛感します。これから3年生は自分の進路に向かって進んでいきます。バトンを引き継いだ誠実で緻密な2年生とパワフルで創造力豊かな1年生が、2学期以降どのような絆を築いてくれるのか、本当に楽しみです。地域の皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。

日新小学校バザーでマグロの解体ショー



2017年度日新バザーの委員長を拝命されました臼井英里子です。無事に11月12日にバザーを終える事ができました。お天気も良く、楽しく開催できた事は、皆様のお力添え、ご協力のおかげです。ありがとうございました。

また、協賛金にご協力下さいました多くの区内外の企業様、心より感謝しております。私自身は、昨年東京から地元に戻ってきたため、バザー経験は2回目です。委員長という大役でプレッシャーがありました。やるからには楽しんでもらえる内容にしたいという想いがあり、策を練りました。ある時、マグロ解体ショーはどうか？というアイデアが浮かび、バザー役員と相談したところ、やってみよう！ということになり、校長や先生方に了承を得て実現。当日解体したのは53kgのマグロ！実際、多くの方が興味を持ってくださり、斬新、革新的、食育という反響もいただきました。思い切ってやって良かったと思っています。

見事な皇帝ダリア



今年は、10月の台風の影響で底喰川の堤防に植えられた皇帝ダリアが次々と折れてしまいました。そんな中、乾徳4丁目の野村邸の南側庭にはおよそ高さ4.5メートルの皇帝ダリアが見事に花をつけ咲いていました。物干し竿などを利用し支柱をたて、折れないように手入れされています。

一度ご覧になってください !!

日新地区のアスリート



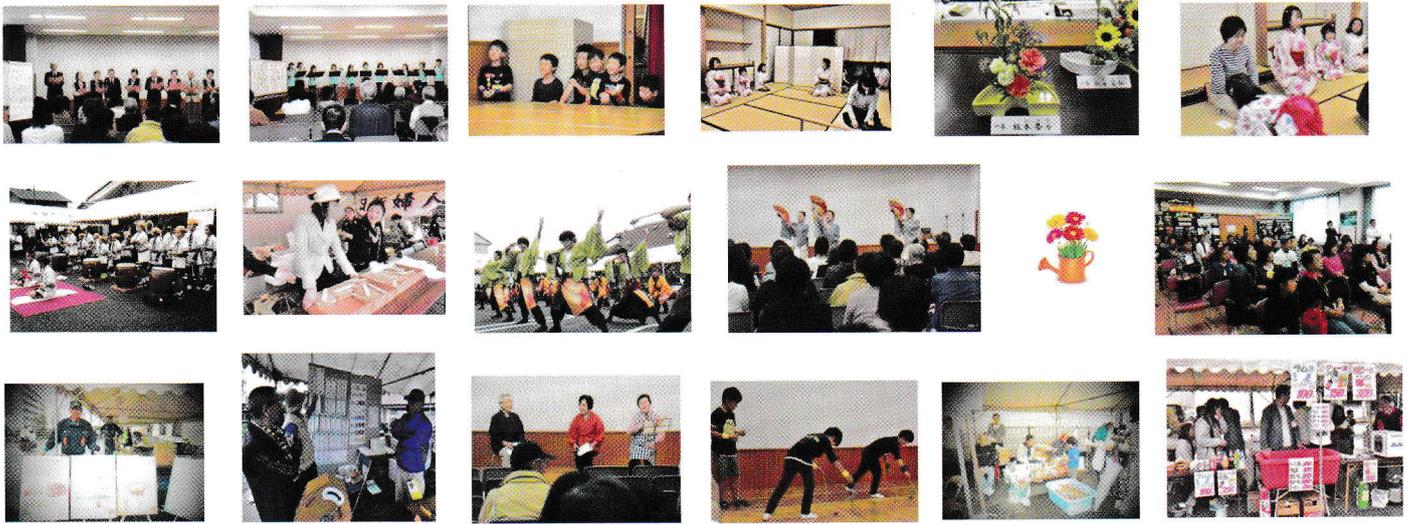
農口君がバドミントンを始めたのは小学一年生の時にお姉さんに連れられて金井学園スポーツクラブに行き始めたのがきっかけです。最初はただ健康のために続けてきたのですが、小学生高学年になりめきめき腕をあげ、中学生では全国大会に出場、高校二年生の今、福井県内の全ての大会で優勝するようになりました。今は、バドミントンをしているときが何よりも楽しいと話します。来年の福井国体には是非最高の演技をしてほしいですね。

十月に行われた愛媛国体のバドミントンシングル少年の部で見事ベスト十六に輝いた農口拓弥君を紹介します。

頑張れ農口拓也君！

公民館祭り

10月15日(日)曇り空にも関わらず”笑顔さんさん輝く日新“のテーマのもと三世代ふれあいの場として公民館祭りが盛大に開催されました。「うまいもん広場」「自治連販売コーナー」「ふれあいコーナー」「写真展」「活動紹介・作品展」「舞台発表」などで多くの人で賑わいました。



底喰川の環境改善に対する・美化整備



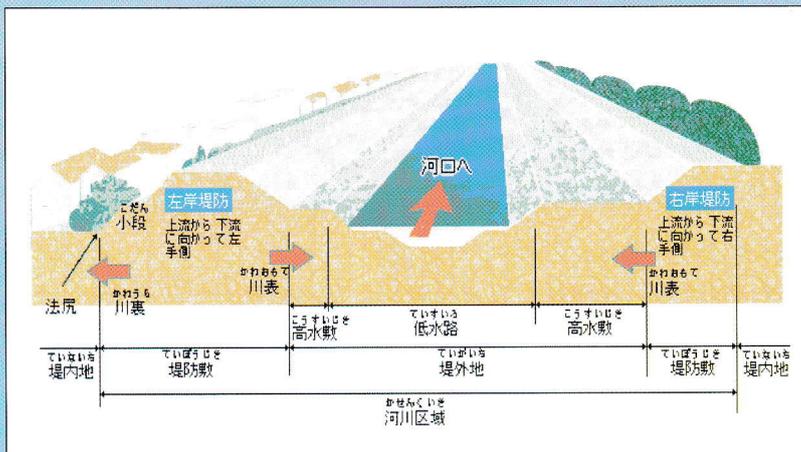
10月24日に福井県土木事務所、仲垣自治連会長、広瀬公民館館長、野村まちづくり会長、高橋環境部会長等が、福井県土木事務所河川砂防課に出向き「日新地区の底喰川に係る環

境・美化整備」についての要望を行った。1時間15分の話し合いの結果、改善を行うと了承を得たものは、次の5項目であります。

- ①高水敷の土留めの丸太の補修、
- ②11月に行う底喰川清掃に伴うゴミの回収、
- ③高村邸北側の低水路に降りるステップを設置
- ④道路脇の河川側堤防のレンガの改善、
- ⑤左岸堤防の樹木の支柱の撤去

残念ながら、土砂の堆積・葦等の繁茂の中州の撤去は、他の河川などからの要望も多く、もう少し待つ様子を見て、検討していただくこととなりました。

下記に河川に関する各場所の名前を図中に掲載します



これは何?



底喰川右岸の国家公務員宿舎横に立っている高さ約15メートルの茶色のポール。いったい何でしょう?

実は底喰川の水位監視カメラです。ウェブで「福井県河川・砂防総合情報 カメラ」でカメラからの映像が見れます。下に添付した写真は10月21日の台風21号の時に危険水位をオーバーした時の監視カメラの映像です。

しかし、「川へのゴミのポイ捨てを監視するものがあるといいですね」。



環境部会

日新小学校への出前授業



10月27日、高橋環境部長と前川さんが日新小学校へ「日新地区の美化活動」というテーマで出前授業を行い、わくわく室で児童45名と担任2名+2名の参加がありました。底喰川の環境美化に取り組んでいる状況をスライド9枚を使いながら50分の説明をすると、児童は話を食い入るように聞き、一生懸命メモを取っていました。講義の後感想を聞いたところ、「こんな活動に参加したい」、「ボランティアに参加したい」「ゴミのポイ捨てをしないようにしよう」、「家族で出来るだけ水を汚さないように話をしたい」など多くの発言があり、講師の2人は素直な感想を聞き、胸が熱くなりもっと活動に心しなければと再確認したそうです。なお、最後にアンケートをお願いして終わりました。今後も日新地区の皆さんと将来を担う子供達と一緒に底喰川の美化にもっと取り組んでいきたいものですね。



い」「ゴミのポイ捨てをしないようにしよう」、「家族で出来るだけ水を汚さないように話をしたい」など多くの発言があり、講師の2人は素直な感想を聞き、胸が熱くなりもっと活動に心しなければと再確認したそうです。なお、最後にアンケートをお願いして終わりました。今後も日新地区の皆さんと将来を担う子供達と一緒に底喰川の美化にもっと取り組んでいきたいものですね。

交通部会

本格運行査定は住民の協力を依り必ず突破しよう 山口 満

今年も僅かの日数になり、地域の皆様には日頃積極的にさんさんバスのご利用を頂き誠にありがとうございます。交通部会としてもお役に立てて大変喜んでおります。8年程前は全国で約1000台のコミュニティバスが走行していましたが、今は地域の自治体と行政が一体となり高齢者に対する利便性のため約3500台のバスが走っています。日新地区についても平成22年に組織を立ち上げ、7年目を迎えています。そして、今年度は2回目の本格運行業績査定の途中経過(30年3月末)にあります。

査定の基準は、月次750名以上、1車当たり5名以上、収益率は25%以上ですが、現在の実績は(10月末実績729名97.2%、1車当たり4.8名、収益実績23.2%)でわずかに届いておりません。4月以降、部会としても下記のような企画内容を打ち出しました。現在も継続的に実施しているものもあり、是非とも今後も積極的にイベント参加企画、活用に対応を宜しくお願い致します。特に以下のイベントについては参加者も増加の傾向にあり、極めてお客様に喜んで頂き好評であります。



全館オープンによる 福の湯(佐野温泉) 食事会・カラオケ会 月次2回の映画会

今後も上記以外の企画についても考えながら地域の皆さんに喜んで頂ける内容を検討をしていきます。

コミュニティバス → イベント参加 → フレンドリー化を高める → 若さを保持

楽しくて優しい生活環境を維持し、私たち交通部会は今後も努力してまいります。ご協力の程を宜しくお願いします

広報部会

まちづくり合同研修 近江の旅

11月19日(日)少し寒く曇り空の朝に41名の参加者が大津市へ出発。琵琶湖へと流れる「相模川を美しくする会」の活動を現地研修しました。この会の岡田会長の話によると、昭和47年に発足して45年目の今も流域の13自治体と1企業がボランティアで続けています。川底に石畳を敷く、遊歩道を整備する(これらは県や市に働きかける)、毎月一回の清掃などの努力で、今は清流がさらさら流れる川になったということ。大津市の市民憲章の一に「郷土を愛し琵琶湖の美しさをいかしましょう」とあり日本一の湖に限りない恵みをうけていることが、市民の心に浸透している証かと納得しました。天気も回復して、昼食後は近江八景の1つ「三井の晩鐘」で有名な三井寺を参詣。紅葉の美しい広い境内をガイドさんの案内で散策しました。



そのあとラコリーナ近江八幡(たねやグループ)と井伊家の酒造所「金盞」(きんかめ)でしっかりショッピングを楽しみ、快い疲れと共に家路に着きました。

43号特別号における訂正とお詫び

「第一回日新みそはぎ花まつり」の記事3行目「北側の底喰川」を「南側の底喰川」に訂正です。大変申し訳ありませんでした

